

# <導入する際に検討すべき事項>

①例) 血液加え

・その場所では必要か?

・項目等 機器の選定

・教育訓練

・測定件数

・システム管理について

・情報の収集

試薬類在庫管理

・メンテナンス

・精度管理

トラブル時

・連絡先にかけて

(原因追突)

定期的および

トラブルの原因に

フィードバック

※インフォメーションは  
委員会より

| 到王

## 導入に際する検討事項

- ・検査部との相関性
- ・コスト (購入・ランニング)
- ・使いやすさ (使用・管理) (検体量・反応時間)
- ・導入計画 (購入方法)
- ・教育 (個別・全体)
- ・環境 (場所・保管) (温度・湿度)
- ・廃棄法

- POCT機器である必要性の検討.
- 使用者. 目的. 頻度. コスト(採算性)
- 設置場所
- 試薬. 機器管理の所在.
- 機器の性能 (感度. 操作性)
- ISO取得 - 機器の妥当性確認
- 使用者の教育方法. SOP作成

- ・HIS, LISとの接続
- ・コスト面
- ・性能評価
- ・メンテナンスしやすい
- ・使いやすい(現場)
- ・導入時に関与する
- ・医師主導で決めないようになる
- ・同一機器統一(コスト安くなる)
- ・POCTメーカー対応(すぐできるか)

4期

- ・臨床のニーズに合っているかどうか?
- ・データの正確性
- ・操作の簡便性
- ・コスト (ハードウェア含む)
- ・ルーター機との「データ互換性」
- ・オンラインできること
- ・メーカーのトラブル対応等のアフターケア
- ・メンテナンスが楽なこと
- ・明確な精度管理ができること
- ・小型 (省スペース)
- ・廃棄 (廃棄対策) の方法

- ・試薬の保存 (温度管理 場所)
- ・配置場所
- ・病棟への教育体制
- ・使用期限管理方法
- ・運用方法 (オーダー方法など)
- ・プリントアウトデータの管理

# 検討すべき事項

- ① 項目
- ② 測定者
- ③ 頻度
- ④ 必要性
- ⑤ コスト (インシヤルランニング)
- ⑥ オンライン
- ⑦ データ管理、メンテナンス管理
- ⑧ 機器の設置場所  
消費品の保管場所
- ⑨ トレーニング
- ⑩ SOP作成
- ⑪ 運用フローの確立
- ⑫ データの互換性

7.

## 検討するべき事項

- ・選定
  - ・性能. 直線性. 再現性. 耐ス性. 操作性
  - ・検査室データの相同性.
  - ・コスト. 購入時. 運用時. 算定できるか.

★実際に導入した時に使用する場面での  
立場のちがひがある

7.

新EはPOCTを導入する際と検討すべき事項

8期

- 機種選定
- 目的と明確 (SW/H)
- コストとバリエーション
- HIS/LIS 接続費用 ⇒ 依頼・結果・医事情報
- X-TEST に関する情報
- 消耗品の運用 (製法管理・保管等)
- 教育



# 新EIT POC導入

- 現場での必要度
- コスト
- 安全性
- 操作性
- トラブル時の対応はじく (T=他人とこいし、こいしをたがいにする)
- 性能評価 (互換性 妥当性) (互換性検査との)

- 定期的な管理
- 検査結果迅速性
- 災害時
- 結果記録

9 班

# 新たなPOCTを導入する際、検討すべき事項

- ・ 使いやすさ (操作操作性, 測定時間)
- ・ 機器のコスト, ランニングコスト
- ・ マニピュレーション管理, 物品管理 (冷蔵, 室温)
- ・ 測定環境に合った装置 (電源, 水道, 廃液 廃棄物)
- ・ 基本性能の高さ
- ・ システムとの連携
- ・ 使用頻度 費用対効果
- ・ 測定精度 (定性 vs 定量)
- ・ 試薬購入 在庫管理